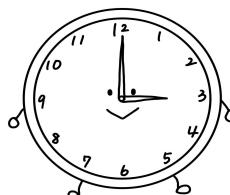


さくら



令和6年6月10日(月)

時の記念日



本日は「時の記念日」です。天智天皇が、671年6月10日（現在の暦で）に漏刻（ろうこく・水時計）で時を人々に知らせたことに由来します。

私たちは、日頃「時間」という言葉を次のように使っています。

「今の時間教えて？」＝「時の流れのある一瞬の時刻」

「どれくらい時間かかる？」＝「ある時刻と時刻の間の長さ」

これらは物理的な時間の定義です。そして時間を計ったり、示したりするのが時計です。1656年、クリスチャン・ホイヘンス（オランダの科学者）が振り子時計を完成させました。その後、機械式時計が世に広まっていきました。それに伴い「時間は常に一定の速さで流れる」という概念が定着していきます。

時間の概念を、一般に広めたのはアイザック・ニュートンです。1687年、ニュートンは「時間」と「空間」について、次のように発表しました。

「宇宙のどこに置かれていっても、すべての時計は、無限の過去から無限の未来まで変化せずに同じペースで同じ時間を刻む」（絶対時間）、「空間はどこも均質で、無限に広がっている」（絶対空間）。これらの理論をもとに、「ニュートン力学」が確立し、物理学の基礎ができました。ただし、超高速で移動している物体については、この理論は成り立たないことがアインシュタインによって証明されています。

時間は誰にも平等に与えられています。そして時間は、刻一刻と未来に向かって流れています。今の科学技術では後戻りできないのです。そんな時間を皆さん大切にしていますか。1日24時間。仮に睡眠時間を8時間とすれば、起きている時間は16時間。この起きている時間を、より計画的に有効に使えたとしたら、多くのことができるのではないかでしょうか。

過度のスマホやゲームで時間を無駄にしていませんか。頑張らなければならないときに、全力で頑張っていますか。「時の記念日」にちなみ、今一度、時間の使い方について点検してみましょう。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

